

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月25日

計画の名称	住みやすさと地域交流による集客力のあるまちづくり												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	高崎市												
計画の目標	人口減少社会を迎えた今日においては、特性に応じて自立的に発展する地域社会の実現が求められている。高速交通網の十字軸上にある高崎市は、その広域交通ネットワークの拠点性により物流機能を高めてきたが、交流人口の拡大を図るため、地域ブランド力である「文化力・市民力・産業力」とともに、災害に強いまちをブランド力として「安全で住み続けたい」まちづくりを目指す。また、交通拠点性を大いに発揮し、地域内外の交流人口を増大させ、高崎の副都心の発展とともに、集客都市を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	22,000	A	18,555	B	62	C	3,383	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	15.37	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H31末)
1	高崎市の観光入込客数5,386,800人(H25)を6,000,000人(H31)へ増加 群馬県観光客数・消費額調査から、高崎市の観光入込客数を計測する。	5386800人/年	5600000人/年	6000000人/年
2	市民アンケート「地域の防災体制が充実した災害に強いまちの印象」を26.1%(H25)から30.0%(H31)へ増加 市民アンケート中の高崎市の印象「地域の防災体制が充実した災害に強いまち」の回答中、「そう思う+まあそう思う」の数値を測定する。	261%	270%	300%
3	市内人口総計375,041(H25)を維持 市内の住民基本台帳人口(外国人登録含む)を計測する。	375041人	375041人	375041人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
【計画の期間】平成25年度~平成31年度(7年間)【7年間の全体事業費(百万円)】合計(A+B+C+D):26,580 A:21,975 B:117 C:4,488 D:0 効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D):16.9%												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	高崎市	直接	高崎市	-	-	高崎駅東南地区都市再生整備計画	区域面積110.0ha、高次都市施設	高崎市						257	-	
	A10-002	都市再生	一般	高崎市	直接	高崎市	-	-	群馬中央第二周辺地区都市再生整備計画	区域面積 82ha、下水道、地域生活基盤施設、土地区画整理事業	高崎市						260	-	
											小計						517		
住環境整備事業	A16-003	住宅	一般	高崎市	直接	高崎市	-	-	高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業	市街地再開発 1.5ha	高崎市						0	-	
	A16-004	住宅	一般	高崎市	間接	組合	-	-	高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業	市街地再開発 1.5ha	高崎市						0	-	
											小計						0		

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市再生整備計画事業	A10-005	都市再生	一般	高崎市	直接	高崎市	-	-	倉賀野駅北・高崎操車場 跡地周辺地区都市再生整 備計画事業	区画整理・公園等 216.4ha	高崎市						544		-		
												小計						544			
住環境整備事業	A16-006	住宅	一般	高崎市	直接	高崎市	-	-	高崎駅東口地区暮らし・ にぎわい再生事業	区域面積1.4ha、ホール設計 ・建築	高崎市						17,494		-		
												小計						17,494			
											合計							18,555			

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	B01-001	街路	一般	高崎市	直接	高崎市	市町村 道	改築	飯塚並榎線改築事業（第 二工区）	街路 L=425m	高崎市						62		-		
		A10-001に関連し、駅周辺へのアクセス道の整備をすることで、集客力の向上を図る。																			
											合計						62				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 高崎市で実施する	事後評価の実施時期 令和3年3月
	公表の方法 高崎市のホームページで公表する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画事業により、駅周辺の都市基盤が整備され集客力が向上した。また、敷地が細分化された既成市街地の街区再編等により良好な住環境が形成された。 ・市街地再開発事業については、関係権利者等との協議に不測の日数を要したため、当初計画どおりに事業進捗を図ることができず、効果発現に至らなかった。 ・暮らし・にぎわい再生事業により、様々なイベント等が開催されるようになり、地域内外からの交流人口が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>本事後評価にて、観光入込客数の増加や災害に強いまちづくり等の事業の効果の発現状況が確認できた。 今後、2期計画において、本整備計画からの継続地区の事業を進め、広域交流人口及び居住人口の増加を目指す。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	観光入込客数	
	最終目標値	6000000人/年
	最終実績値	7426000人/年
2	災害に強いまち	
	最終目標値	300%
	最終実績値	370%
3	住民基本台帳人口	
	最終目標値	375041人
	最終実績値	372147人